

＜中部広域の連携・交流＞

- 胡屋・中央地区を中部圏域の交通拠点として、那覇都市圏、中部都市圏、北部圏域とのつながりを強化していく。

■ 東南植物楽園



出典：東南植物楽園提供

■ 沖縄アリーナ



■ アメリカンビレッジ



出典：北谷町観光協会公式Webサイト



■ 沖縄こどもの国



出典：沖縄こどもの国HP

■ 潮乃森



(平成23年)

出典：沖縄市HP

■ プラザハウス

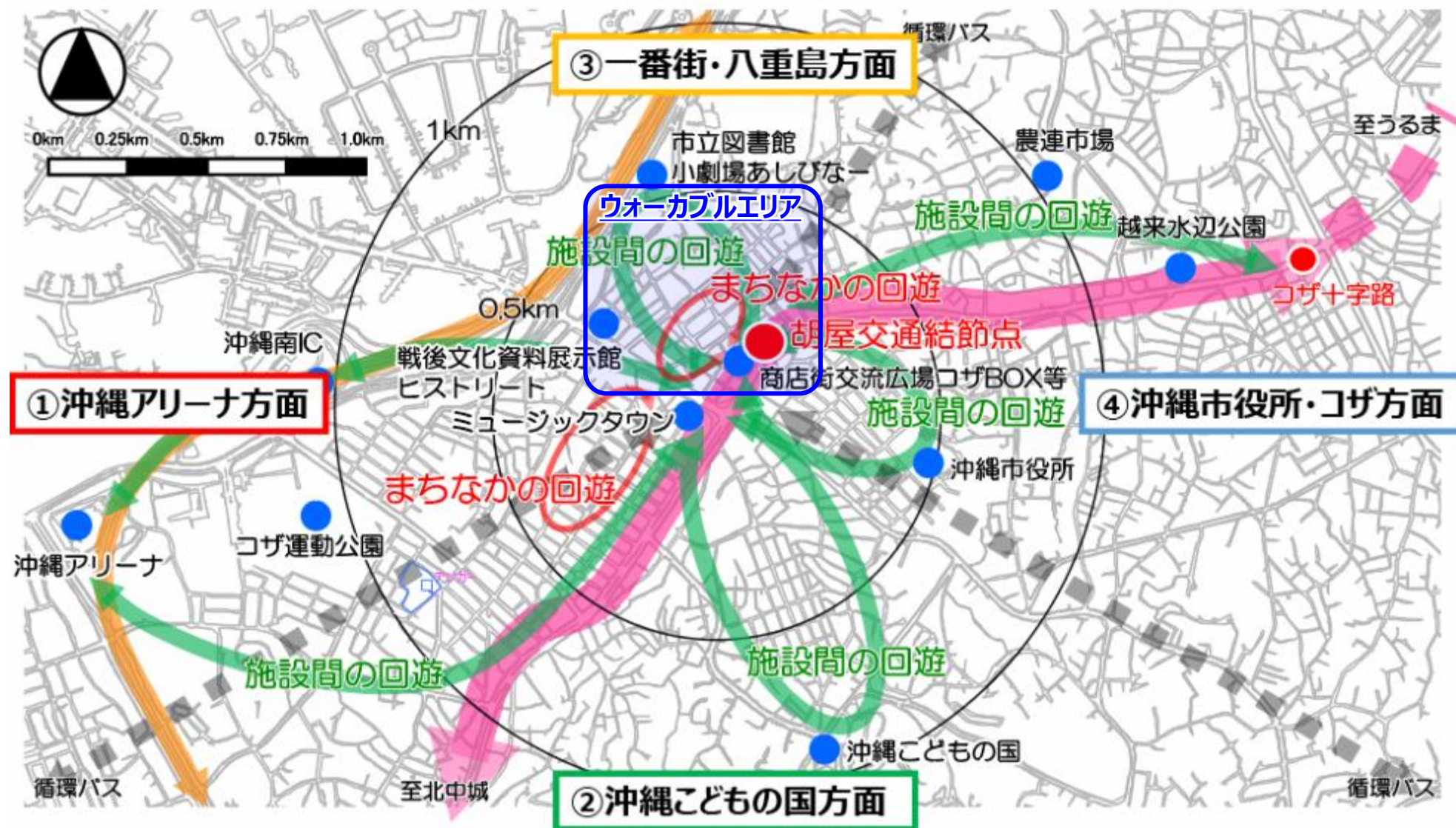


■ イオンモール沖縄ライカム



基本的な方向性イメージ（沖縄市胡屋・中央地区を中心とした範囲）

●沖縄市胡屋・中央地区を中心とした範囲では、交通結節点を中心に、周辺の主要施設を結び、回遊性を向上させます。



『沖縄市交通拠点整備基本構想』 → R6.6月策定

- 沖縄市が中部圏域の中核的役割を果たし、まちの活力を創出する拠点づくりに向けて、沖縄市胡屋・中央地区の交通拠点整備の基本的な方針を示す。

■ 沖縄市中心市街地活性化基本計画 基本方針（第3期 R6.4~R11.3）

- （１）歴史文化やまちの個性、人々を魅了するエンターテインメントの力を活かしたにぎわいづくり
- （２）地域・住民・来訪者にとって快適で良好なまちづくり

■ 沖縄市交通拠点整備基本構想

将来像：KOZAのみんなで作る、活力に満ちたまち

【方針①】誰もが楽しめる、居心地がいい場づくり

【方針②】まちとまちの結びつきを強くする場づくり

【方針③】まちなかの結びつきを強くする場づくり

【方針④】KOZAの歴史・文化が感じられる場づくり

【方針⑤】より安全で安心なまちづくり

① 沖縄アリーナ方面

- ・ スポーツを楽しみ、盛り上げる環境の創出
- ・ まちの個性（商業・文化・歴史）を生かしたにぎわいの創出
- ・ 安心して暮らせる環境の創出

胡屋バスターミナル機能

【基本機能】

【交通結節機能】

【防災機能】

【地域の拠点・賑わい機能】

【サービス機能】

【景観機能】

② 沖縄こどもの国方面

- ・ 沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出
- ・ 安心して暮らせる環境の創出

③ 一番街・八重島方面

- ・ まちの個性（商業・文化・歴史）を生かしたにぎわいの創出
- ・ 安心して暮らせる環境の創出

④ 沖縄市役所・コザ方面

- ・ 安心して暮らせる環境の創出
- ・ まちの個性（商業・文化・歴史）を生かしたにぎわいの創出

将来像・基本的方針

将来像：KOZAのみんなで作る、活力に満ちたまち

【方針①】だれもが楽しめる、居心地がいい場づくり

- 沖縄市の商業の中心である胡屋地区（一番街商店街地区、中央パークアベニュー地区、コザゲート通り地区）において多様な人が訪れ、魅力的な空間を心地よく歩き、つどい、たえずむことができる拠点の構築を図ります。

○地域の魅力向上

- ・より長く滞在してもらえる場所の創出
- ・魅力を感じて訪れてもらえる場所の創出
- ・住みたいと思う人が暮らせる場所の創出
- ・交流、憩いの場の創出
- ・地域イベントにも活用できる空間の創出
- ・商店街の道路空間を活用した魅力の創出

【方針②】まちとまちとの結びつきを強くする場づくり

- 本島中南部の一体性を高める社会インフラとして位置づけられている基幹バスシステムと連携し、沖縄本島全体が抱える交通課題への改善や、交流機会の創出につながるよう、交通拠点機能の構築を図ります。

○都市間のアクセス機能の向上

- ・那覇市と沖縄市を結ぶ軸となる基幹バスシステムとの連携
- ・路線バス、観光バス、高速バス、タクシー等との連携
- ・まちづくりと連携した駐車場施策の促進
- ・行先が分かりやすい乗降場、上屋、待合所、デジタルサイネージ、インフォメーションセンター等の整備

【方針③】まちなかの結びつきを強くする場づくり

- 地域内のアクセス性、回遊性を高めるため、様々な交通手段との乗り継ぎ機能の強化を図り、誰もが移動しやすい、環境の構築を図ります。

○地域内の回遊性向上

- ・バス（路線、循環、シャトル）、タクシー、その他交通手段（シェアサイクル、高齢者用乗り物、観光用乗り物 等）との連携
- ・歩いて楽しい（ウォーカブル）空間の創出
- ・バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進

【方針④】KOZAの歴史・文化が感じられる場づくり

- 南北の商業景観軸と東西の交流景観軸が交わる沖縄市の顔となる地域として、KOZAの歴史や文化を感じることが出来る空間の創出を図ります。

○沖縄市が持つ个性的な空間づくり

- ・国際色豊かな街並みの形成
- ・KOZAが感じられる空間の形成
- ・沖縄市の玄関口にふさわしい空間の形成
(国道330号、パークアベニュー、ゲート通り 等)

【方針⑤】より安全で安心なまちづくり

- 訪れやすい安全で安心な環境づくりを目指します。また、災害時における防災情報などが取得できる環境づくりを目指します。

○防犯・防災機能の向上

- ・防災情報（警報、注意報等）や交通機関の運行情報等の情報発信
- ・一時避難場所としての待合所・広場の活用
- ・安全・安心なまちの創出（防犯・交通安全）
- ・沖縄アリーナとの連携
- ・Wi-Fi等、災害時・緊急時の通信手段の確保
- ・無電柱化

1. スポーツを楽しみ、盛り上げる環境の創出
2. まちの個性（商業・文化・歴史）を活かしたにぎわいの創出
3. 安心して暮らせる環境の創出

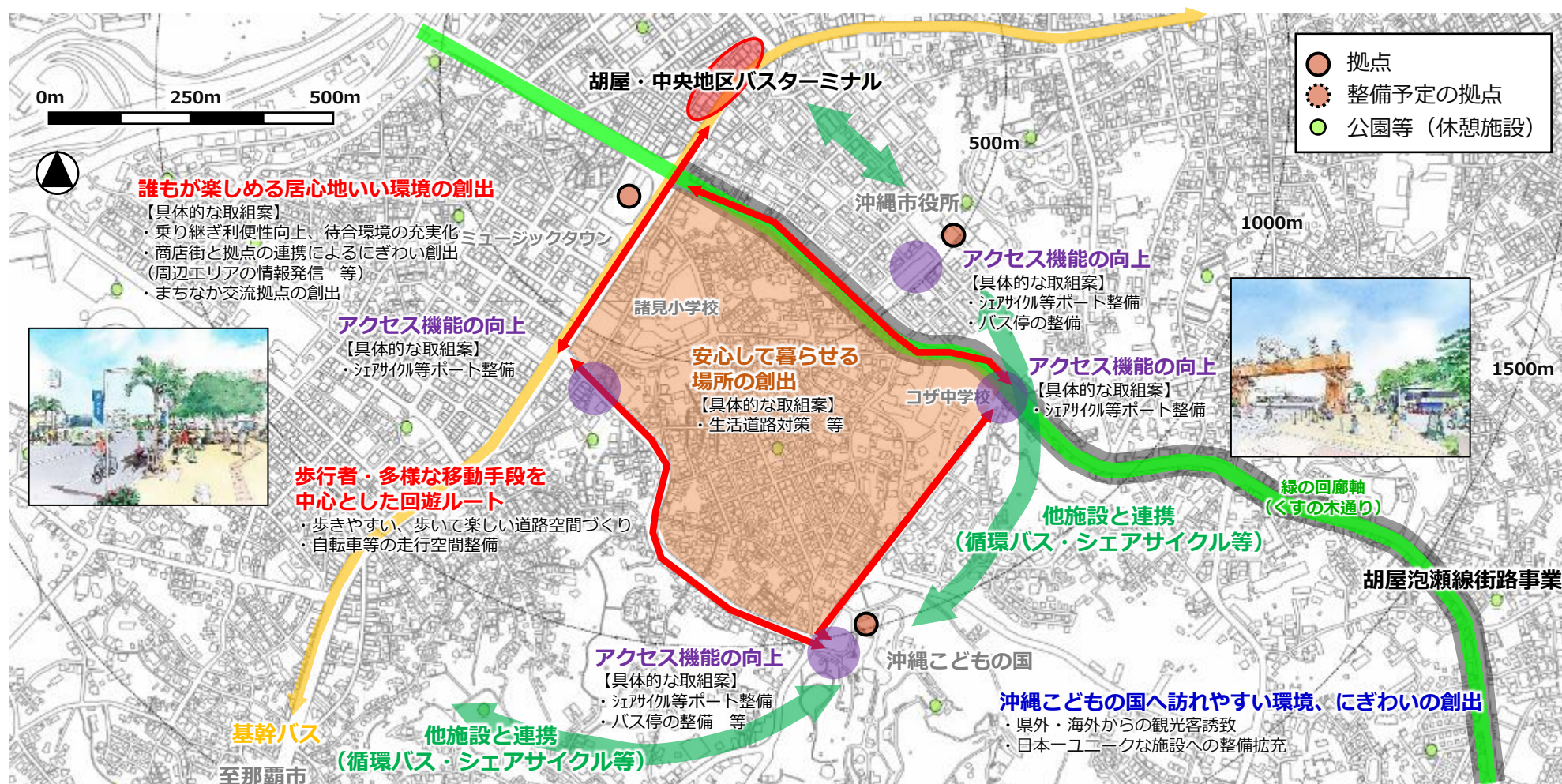
- 沖縄アリーナ方面における3つの基本方針を基に、バスターミナルと街を結ぶための、具体的な取組案（まちづくり、回遊性向上）を整理しました。



② 沖縄こどもの国方面

1. 沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出

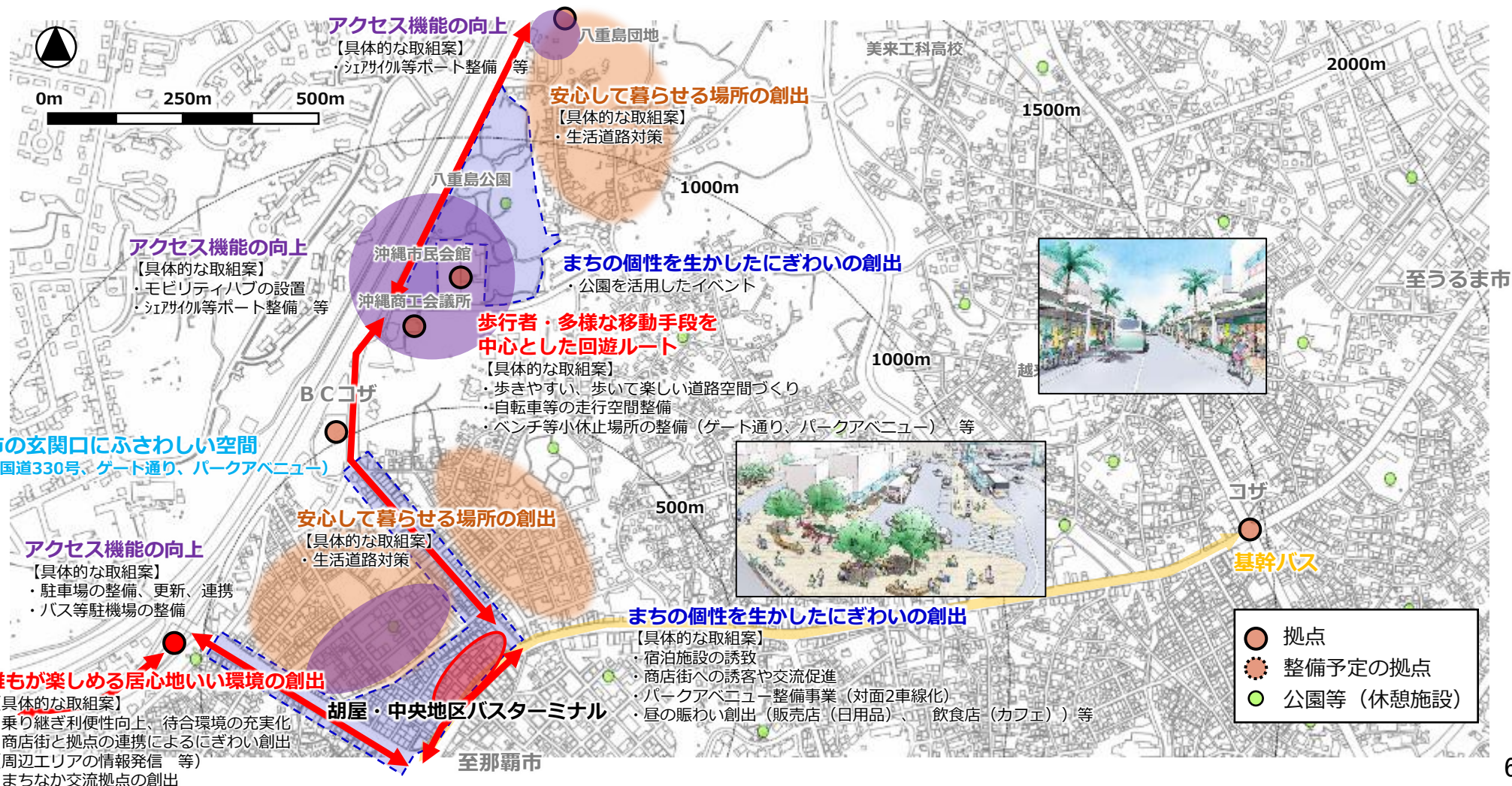
- ・ 沖縄こどもの国方面における2つの基本方針を基に、バスターミナルと街を結ぶための、具体的な取組案（まちづくり、回遊性向上）を整理しました。



③一番街・八重島方面

1. まちの個性（商業・文化・歴史）を生かしたにぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出
3. 市の玄関口にふさわしい空間の創出

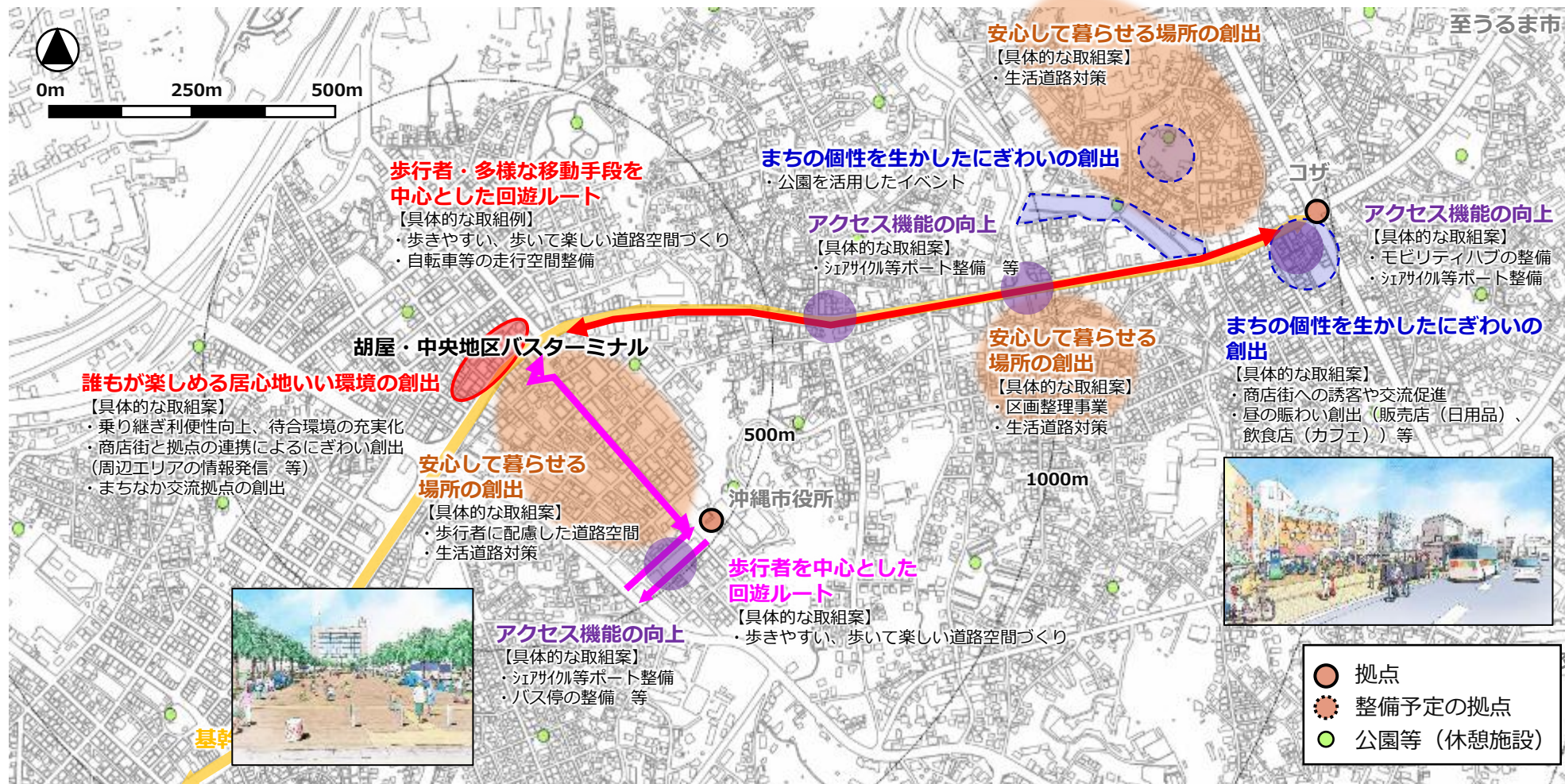
- ・ 一番街・八重島方面における3つの基本方針を基に、バスターミナルと街を結ぶための、具体的な取組案（まちづくり、回遊性向上）を整理しました。



④ 沖縄市役所・コザ方面

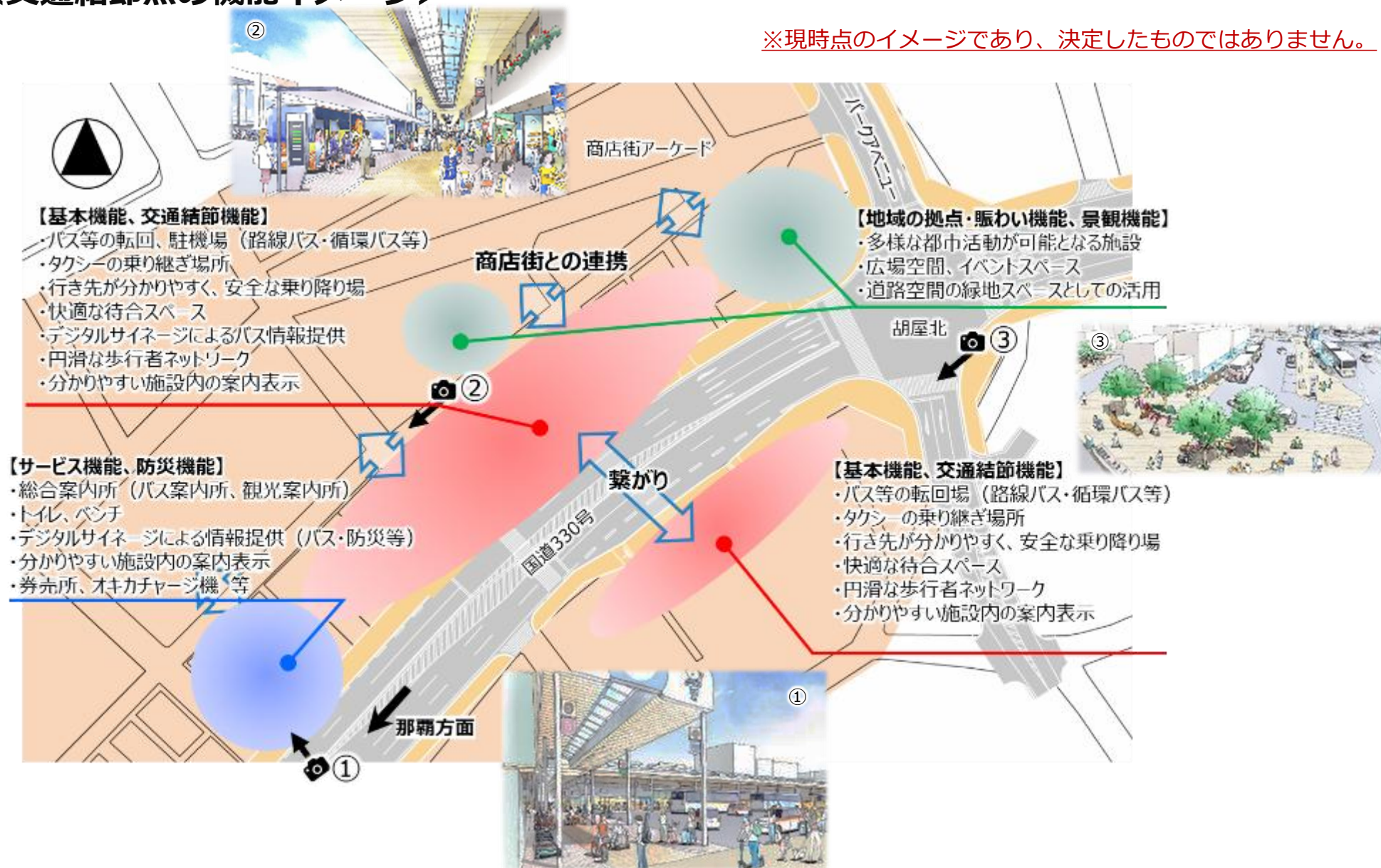
1. まちの個性（商業・文化・歴史）を生かしたにぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出

- ・ 沖縄市役所・コザ方面における2つの基本方針を基に、バスターミナルと街を結ぶための、具体的な取組案（まちづくり、回遊性向上）を整理しました。



<交通結節点の機能イメージ>

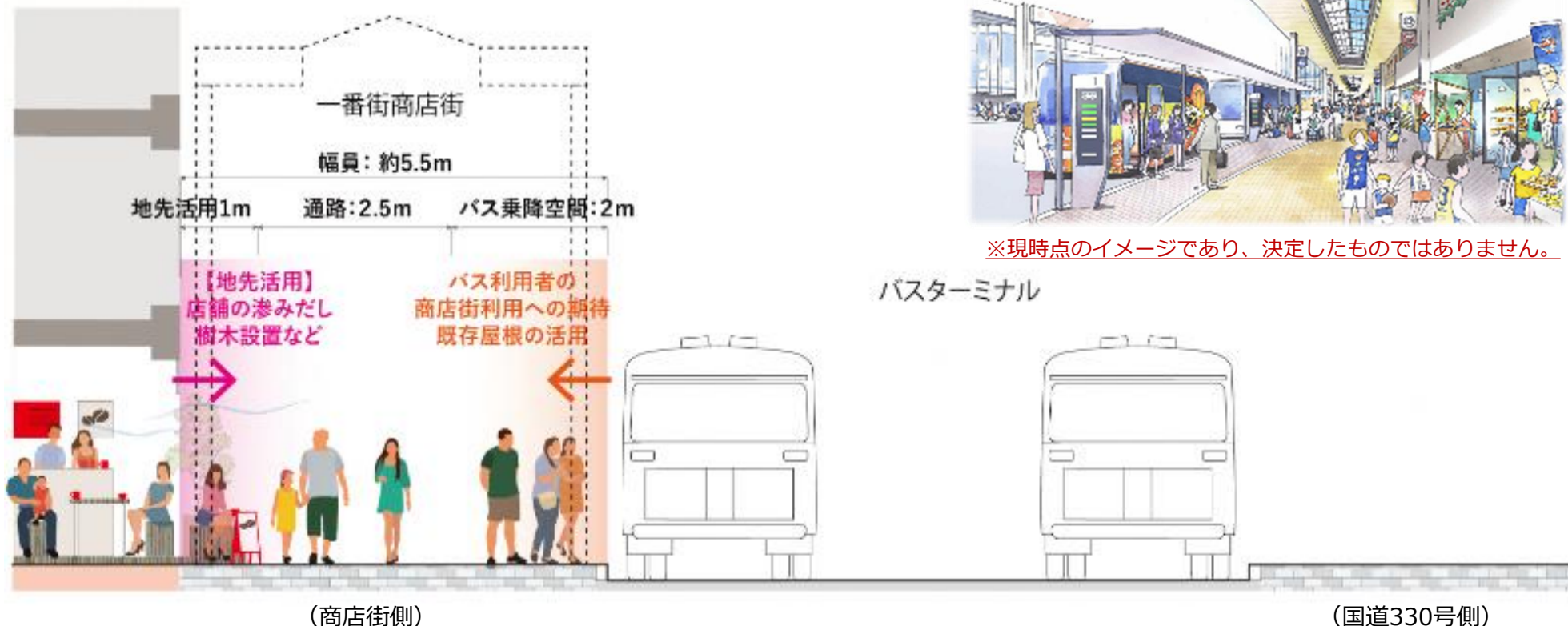
※現時点のイメージであり、決定したものではありません。



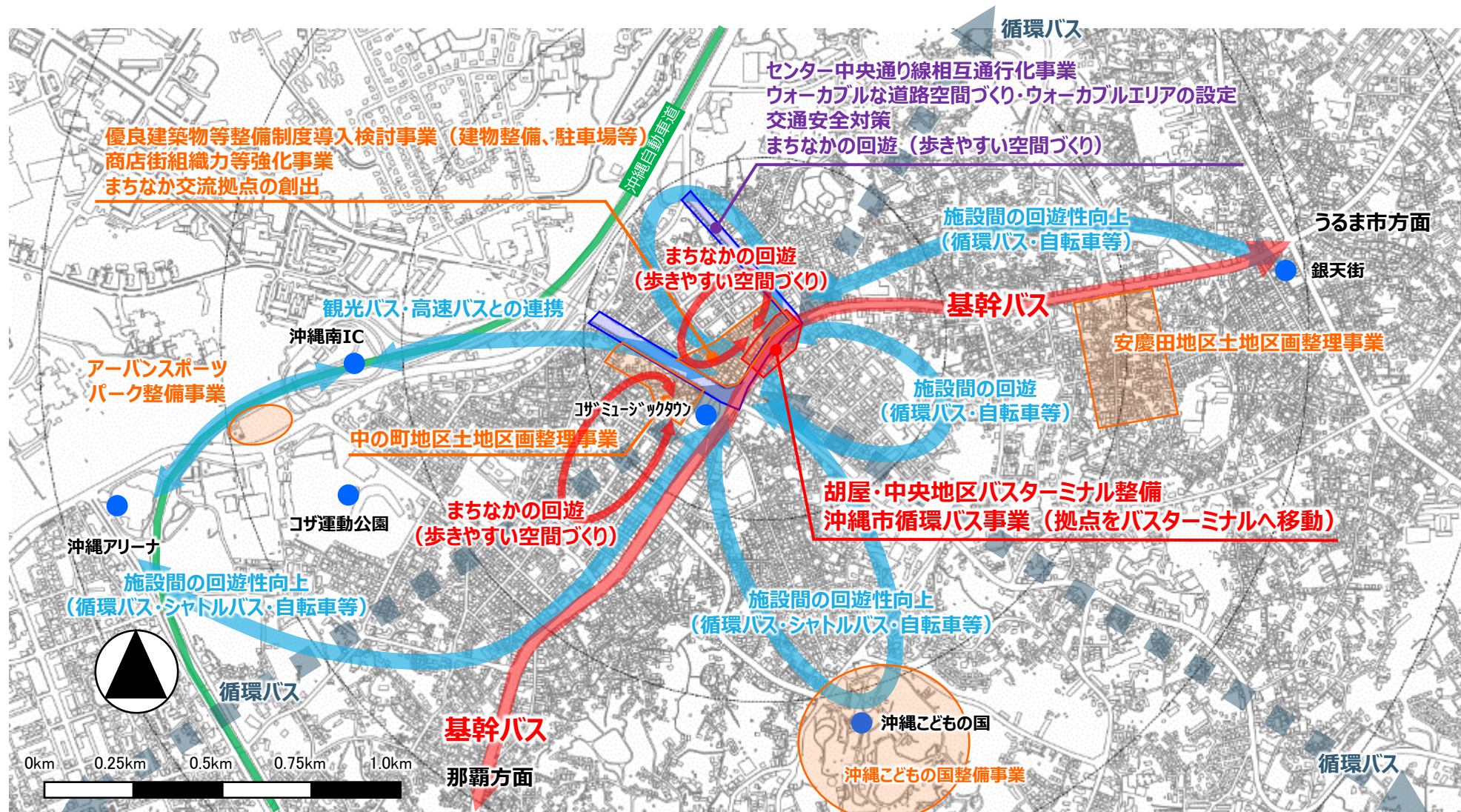
＜交通結節点の機能イメージ＞

- 商店街とのつながりを見据え、乗降場は、商店街に面した位置に配置。
- 路線バス、沖縄市循環バス、高速バス、観光バス、シャトルバス、タクシー、シェアリングモビリティ等の利用を可能にします。

※商店街とモビリティのつながりをイメージ



<基本構想の実現に向けた連携施策（案）>



- 沖縄市では、交通拠点やバス路線網の議論を行っている国や県と連携しながら、胡屋・中央地区バスタと連携した周辺まちづくりについて検討を行う。

■各委員会の役割

沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会

【主な役割】

- ・胡屋・中央地区バスタと連携した交通拠点まちづくりの検討

【事務局】

- ・沖縄市



連携

連携

胡屋地区交通結節点整備検討委員会

【主な役割】

- ・全体取りまとめ・総括
- ・各検討会での議論を踏まえた交通拠点に導入すべき具体機能の検討

【事務局】

- ・沖縄市、沖縄県、沖縄総合事務局 南部国道事務所

沖縄県公共交通活性化推進協議会

- 【主な役割】 ・基幹バスシステムの導入、バスレーン

- 【事務局】 ・沖縄県

沖縄県地域公共交通協議会

- 【主な役割】 ・沖縄県地域公共交通計画の作成・実施

- 【事務局】 ・沖縄県

連携